



NEXT CO.,LTD.

NEWS RELEASE

報道関係各位

2006年10月25日
株式会社ネクスト

不動産情報ポータルサイト「HOME'S」調査報告 求められるのは、『子供部屋』より『リビングルーム』

～子育てと住まいの関係調査～

不動産情報ポータルサイト「HOME'S」を運営する株式会社ネクスト(本社:東京都中央区、代表取締役社長:井上高志)は、子供を持つ18～35歳の方を対象に、**子育てする上で住まいに求められているもの**についてのアンケートを実施いたしました。このたび、その調査結果をまとめましたのでご報告いたします。

【HOME'S リサーチ】

“子育てと住まいの関係調査”

<http://realestate.homes.co.jp/contents2/research/>

<調査概要>

調査対象 : 関東・関西の都市圏に在住する、子供を持つ18～35歳の既婚男女
調査手法 : インターネット調査
有効回答数 : 1,030人(男性:515人、女性:515人)
調査期間 : 2006年9月1日(金)～9月3日(日)

<主な調査結果>

1. 賃貸から持ち家への転換点。鍵となるのは、子供の「人数」と「学齢」。

子供が増えるときや、小学校への入学が脱・賃貸のきっかけに。 (→2ページ)

全体では55%の人が家を所有しているという結果ですが、子供の人数と学齢によって賃貸住まいの方と持ち家・一戸建ての方の比率が逆転。「子供が増える」、「子供の小学校入学」、この2点が一戸建て購入に影響を与えているようです。

2. 「耐震性」「防犯」よりも、子育てに必要なのは「部屋数・広さ」。

「間取り」については、半数以上の方が最低限の部屋数を満たしていると考えている。 (→3ページ)

最近当たり前となった「耐震性」、「防犯」といった項目は、子育てにおいて「部屋数・広さ」、「交通の利便性」といった点に比べ、重視されないようです。

また、60%以上の方は、最低限必要だと考えている間取りと同じか、それ以上の部屋数の住まいで暮らしているようで、間取りに限って言えば現状に満足しているものと考えられます。

3. 欲しいのは『子供部屋』より、広い『リビングルーム』。

プライバシーの確保よりも家族の会話を。(→7ページ)

子育てをする上での理想的な住まいについての自由回答では、子供部屋が必要だという意見よりも、**リビングルームの必要性**が伺える意見の方が多数を占めていました。



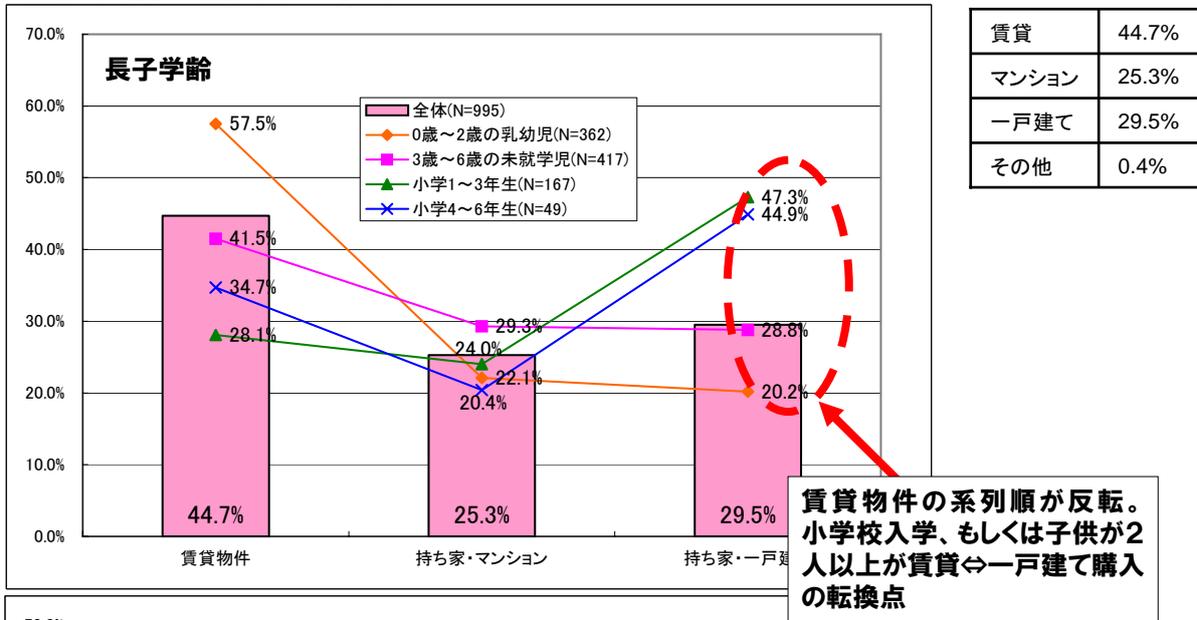
NEWS RELEASE

1. 賃貸から持ち家への転換点。 鍵となるのは、子供の「人数」と「学齢」。 子供が増えるときや、小学校への入学が脱・賃貸のきっかけに。

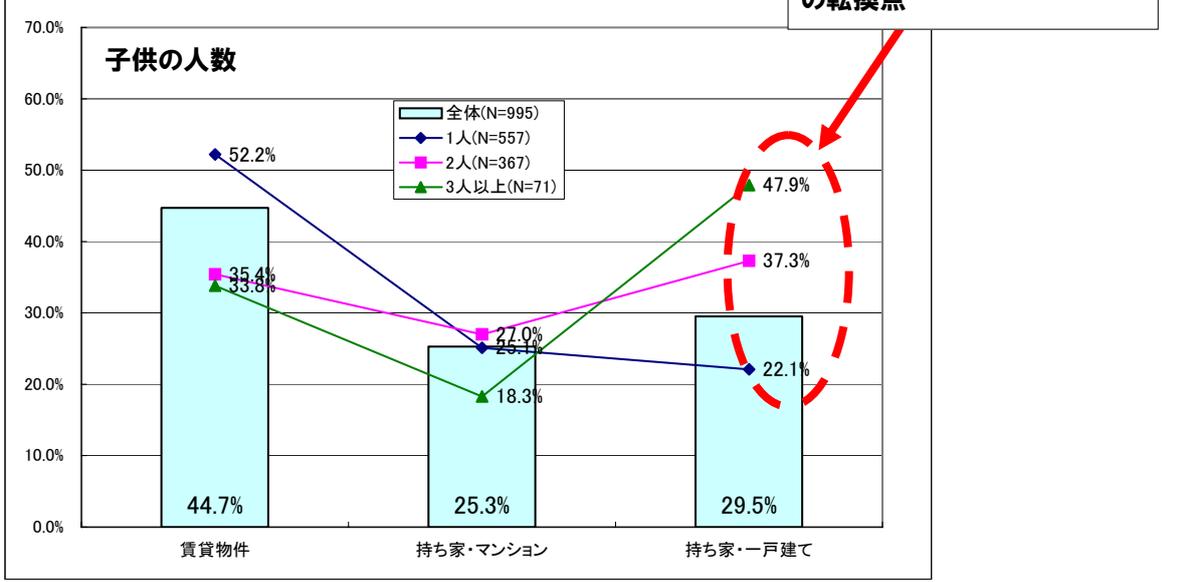
1. 現在のお住まいについてきいたところ、全体の約55%の方が持ち家でした。これを子供の人数と学齢で見ると、賃貸住まいの方と持ち家・一戸建てでは系列の並びが逆転していることがわかります。子供が増える、子供が小学校に入学する、それらのタイミングで一戸建ての購入をしている様子が伺えます。一方、持ち家・マンションは人数、学齢の中間層が選択しているように見えます。ただ、総数が賃貸、一戸建てに比べると少なく、後述の子育てする上で理想的な住まいについての回答で、防音についての意見の多いことから、上下左右の住戸への影響を考えてのことなのかも知れません。

Q 現在のお住まいを選んでください。

全体 (N=995)



賃貸	44.7%
マンション	25.3%
一戸建て	29.5%
その他	0.4%





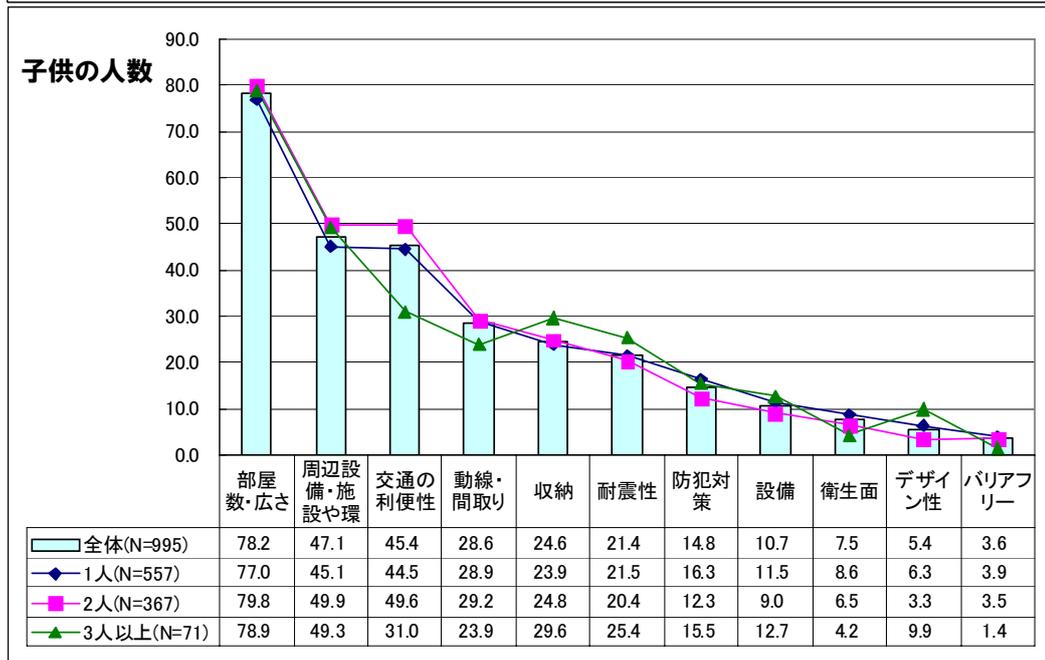
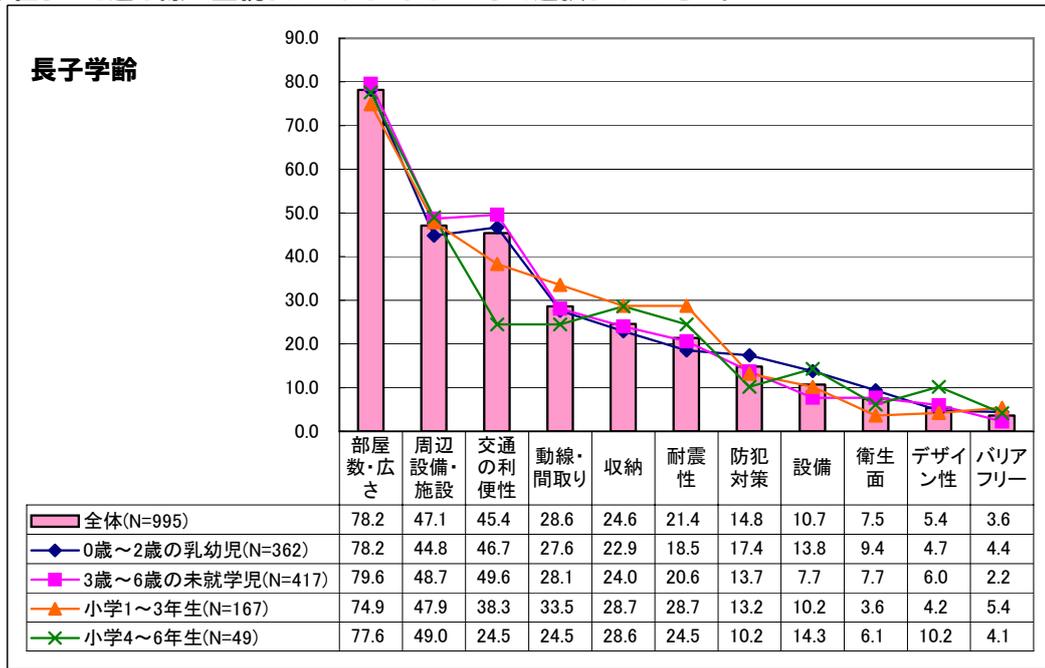
NEWS RELEASE

2. 「耐震性」、「防犯」よりも、子育てに必要なのは「部屋数・広さ」。

「間取り」については、半数以上の方が最低限の部屋数を満たしていると考えている。

2-1. 住まい選びに重視するポイントについて、複数項目から選択してもらった形で回答してもらったところ、部屋数・広さがもっとも多く選ばれました。 選択可能な項目として「耐震性」「防犯」「バリアフリー」といった最近注目されるキーワードもありましたが、収納や交通の利便性などと共に、住まい選びで定番的なものが選択されています。

Q 住まいを選ぶ際に重視したいポイントを3つまで選択してください。

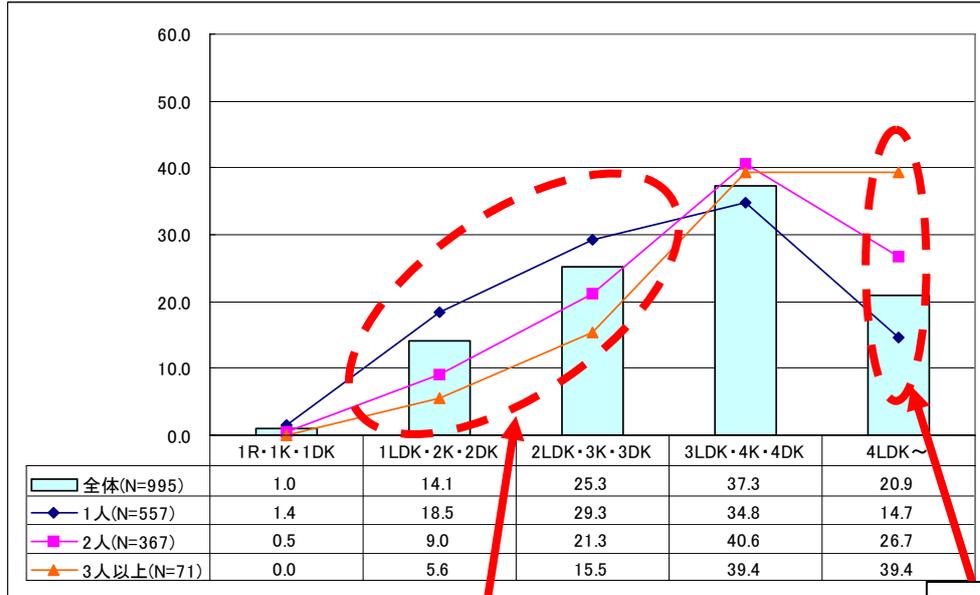




NEWS RELEASE

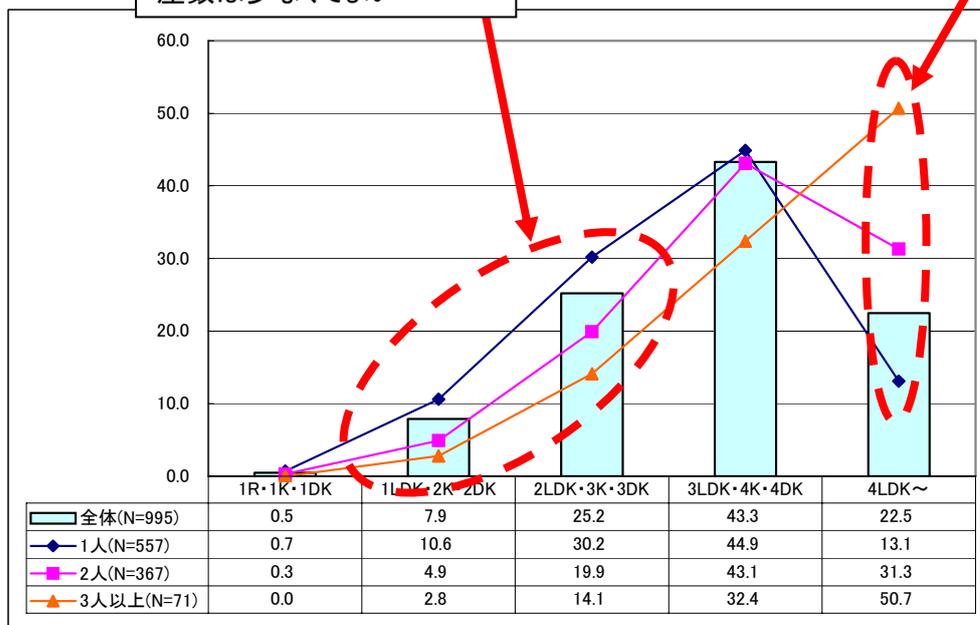
2-2. 最低限子育てに必要な間取りについての回答をみると、全体の70%が子育てには3LDK以上は必要だと回答しているところから、子育てには一定水準以上の部屋数・広さが必要と考えられているようです。回答者の子供の人数で結果を見てみると、4LDK～の項目で系列の並びがほぼ逆転します。子供の人数が増えることで、より多くの部屋が必要とされることが見て取れます。

Q 今のお住まいの間取りを教えてください。(子供の人数)



子供の数が少ないうちは部屋数は少なくてよい

子供が多いほど多くの部屋が必要とされる



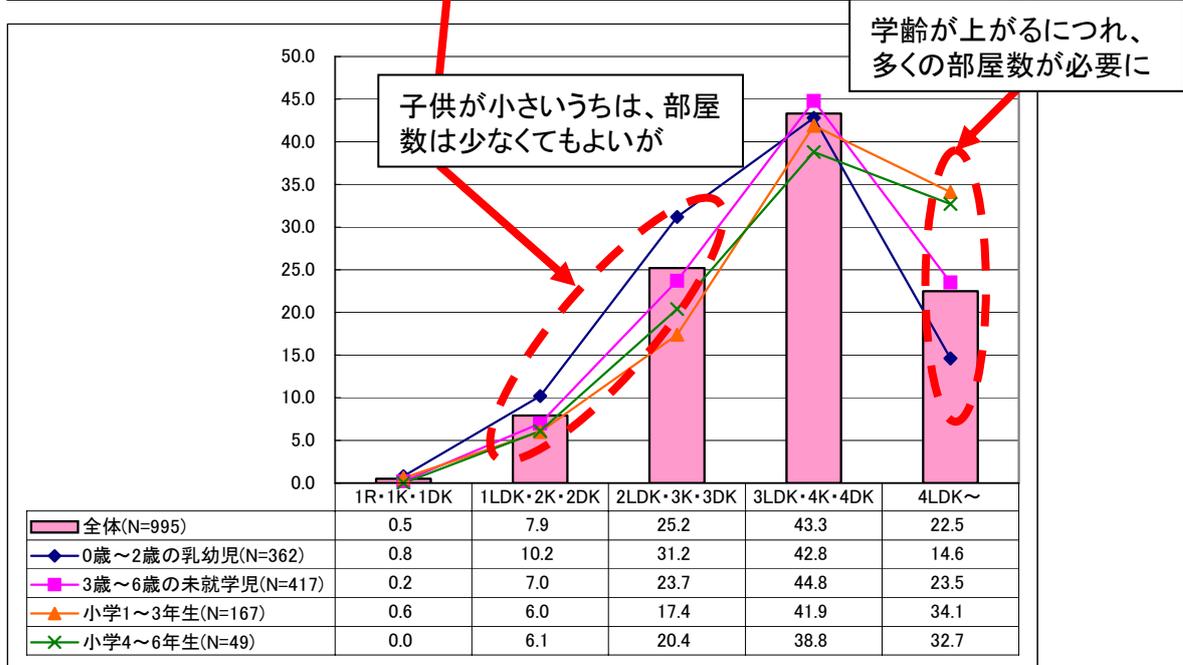
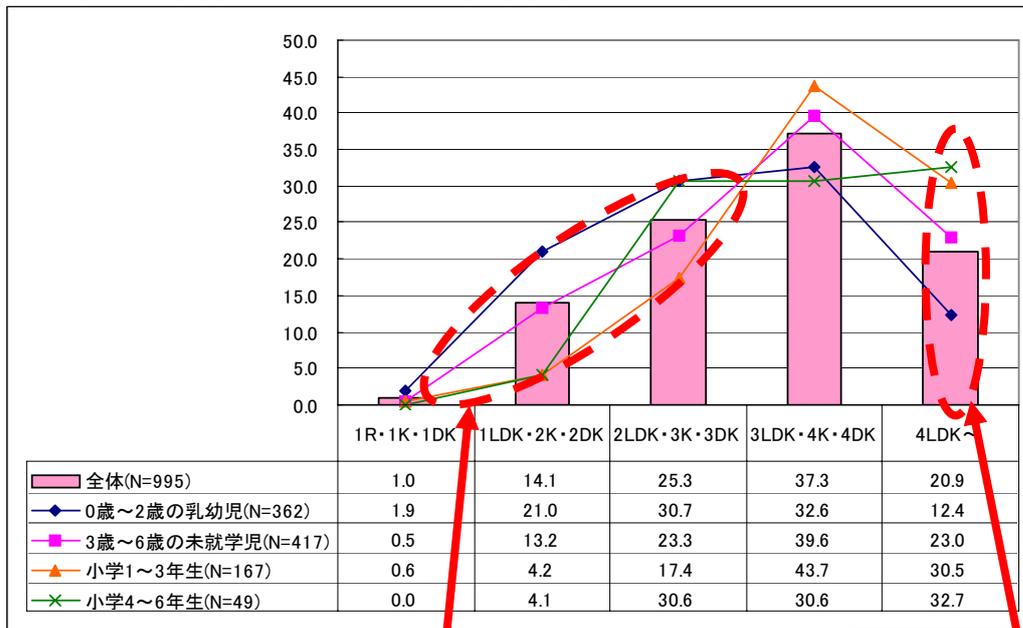
Q 子育てする上で、最低限必要だと思う間取りを教えてください。(子供の人数)



NEWS RELEASE

次に、最低限子育てに必要な間取りについての回答を長子の学齢で見ると、人数で見たとき同じような分布が現れます。学齢の低いうちは部屋数は少なく、学齢が上がるにつれ多くの部屋が必要となっている様子が見えます。理想の住まいについての自由回答(7ページ)には「子供が小さいうちは家族スペースが広く、ある程度の年齢になったら子供部屋として機能(変更)する家」といったような回答もいくつか見られことから、小学校に進学し、勉強部屋として子供部屋が必要になる、年齢が上がるにつれ、プライバシーの確保が家族の中でも必要となる、といった事情が予想されます。

Q 今のお住まいの間取りを教えてください。(長子学齢)



Q 子育てする上で、最低限必要だと思う間取りを教えてください。(長子学齢)



NEWS RELEASE

最低限子育てに必要なと思われる間取りと、今現在の間取りについての回答を比較してみると、必要とされる間取りと実際に住んでいる間取りとに著しい乖離は見られませんでした。
今の住まいの間取りが、最低限子育てに必要な間取りと同じか、それよりも部屋数が多いという回答者は全体の60%以上にのぼります。育児環境としての間取りに関しては比較的満たされている家庭のほうが多いようです。

今の住まいが最低限必要だと思う間取りと同じか、それ以上の部屋数の割合

	最低限必要だと思う間取り						
		N	1R・1K・1DK	1LDK・2K・2DK	2LDK・3K・3DK	3LDK・4K・4DK	4LDK～
今の 間取り	1R・1K・1DK	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1LDK・2K・2DK	37	5.4%	94.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	2LDK・3K・3DK	100	0.0%	17.0%	83.0%	0.0%	0.0%
	3LDK・4K・4DK	265	0.4%	3.4%	26.0%	70.2%	0.0%
	4LDK～	206	0.0%	3.4%	18.9%	32.5%	45.1%
	全体	610	0.8%	11.1%	31.3%	41.5%	15.2%



3. 欲しいのは『子供部屋』より広い『リビングルーム』。 プライバシーの確保よりも家族の会話を。

3. 子育てする上で理想の住まいについて自由に回答をしてもらったところ、リビングルームについての意見が最も多く見られました。ほとんどが家族の団欒、常に家族の顔が見える家など家族間のコミュニケーションについての意見でした。

次点は子供部屋について。子供の自主性やプライバシーについての意見がある一方、子供の孤立、様子がわからなくなるなど、デメリットについて触れている意見も。そのため、リビングルーム経由でない子供部屋に向かえなくする、リビングルームの隣に子供部屋を用意するといった、親の目が届く条件も併せて回答している方もいます。

また、子供のいる家庭ということで、騒いだり暴れたりしたときの騒音が立たない、もしくは近隣に聞こえないよう防音対策についての意見も散見されます。上下左右の家庭に気を使わなくてはならないことから、マンション購入が選択されにくい、という先の結果は、このような理由があるものと予想されます。

Q. 子育てするうえでの、理想の住まいをご自由にお書き下さい。

回答中に頻出したキーワードの割合 (N=1030)

リビングルーム	18.6%
子供部屋	12.1%
防音	6.7%
動線	4.7%
会話・コミュニケーション	4.4%

その他、通気性、採光、対面キッチンなどの意見が多数。

〈代表的な回答〉

子供部屋を玄関のそばにしたいくないので、リビングを通過して子供部屋に行くような住まいを望んでいます。今の住まいは、仕切りが多く開放感がないので光のよく入る、開放感のある家が理想です。
(女性/31歳/埼玉県/その他)

個人の部屋は狭くても、家族と一緒に過ごすリビングなどは広いが、一日一回は使用するお風呂などは他の家族が居るであろう、リビングを通過していかなくてはならない、と言うように家族がどんな場面でも顔が見れる家が理想です。
(女性/34歳/神奈川県/専業主婦)

庭付き一戸建て。チャイルドルームか大きなリビングなど、子供が家の中と庭で安全に自由に走り回って遊べるスペースがある家。大きな物音がしても親がストレスを感じない住宅。
(男性/29歳/京都府/会社員)

勉強場所にリビング裏などにPCも置いて勉強できるカウンターがあるといいと思う。参考書や辞典なども置ける様に本棚も設置されている。一つ防音の部屋があると良い。子供が夜遊んだり楽器を演奏したり映画を見たりできるように。
(女性/27歳/東京都/その他)

危険の無い安心の住環境であること。近所に同年代の多い場所であること。騒音問題に理解のあるご近所であること。学校・公園・病院・保育園が近くにあること。空気がきれいで健康に暮らせる環境であること。最低限の広さがあること。
(男性/30歳/神奈川県/会社員)

子供部屋を作らない。
(女性/31歳/兵庫県/専業主婦)



その他のデータ (参考資料)

性別	%
男性	50.0
女性	50.0

地域	%
関東地方	65.1
近畿地方	34.9

年齢	%
12才～19才	0.1
20才～24才	2.5
25才～29才	19.4
30才～34才	62.0
35才～39才	15.9

職業	%
公務員	3.7
経営者・役員	1.2
会社員 (事務系)	12.1
会社員 (技術系)	22.8
会社員 (その他)	10.6
自営業	3.3
自由業	0.6
専業主婦	36.9
パート・アルバイト	7.0
学生	0.3
その他	1.6

都道府県	%
埼玉県	12.1
千葉県	12.0
東京都	22.4
神奈川県	18.5
京都府	4.9
大阪府	16.6
兵庫県	11.4
奈良県	2.0



NEXT CO.,LTD.

NEWS RELEASE

〈 会社概要 〉

社名 : 株式会社ネクスト
設立 : 1997年3月12日
代表者 : 代表取締役 井上高志
資本金 : 187,590千円
所在地 : 〒104-6215 東京都中央区晴海1-8-12
晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟 15階
連絡先 : 電話:03-6204-4040(代) FAX:03-6204-3961
URL : <http://www.next-group.jp/>
事業内容 : 不動産ポータル事業
・日本最大の不動産情報ポータルサイト「HOME'S」の企画・運営
・新築分譲マンションポータルサイト「新築HOME'S」の企画・運営
・新築分譲マンションポータルサイト「イースマイドットコム」の企画・運営
・新築分譲戸建住宅ポータルサイト「新築一戸建てHOME'S」の企画・運営
・注文住宅ポータルサイト「家づくりHOME'S」の企画・運営
・リフォームポータルサイト「リフォームHOME'S」の企画・運営
・不動産投資ポータルサイト「投資HOME'S」の企画・運営
広告代理事業
・Web広告プロモーション、バナー広告の企画提案ファイナンス事業
その他事業
・「HOME'S CARD 家賃サービス」の企画・運営
・「HOME'S マイルーム保険」の企画・運営
・システム開発、Web制作等
・地域・生活者コミュニティサイト「Lococom」の企画・運営

HOME'Sとは:

北海道から沖縄まで、全国160万件の不動産物件情報を検索できる、日本最大の不動産情報ポータルサイトです。
楽天市場、infoseek、Nifty、BIGLOBE、OCN、ODN、dion、So-net、Excite、fresheye、asahi.com、ビッダーズ、ロイタージャパン、駅前探険倶楽部、ascii24等の50以上のサイトと提携しています。

〈 本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社ネクスト 管理本部 広報グループ
東京都中央区晴海1-8-12
晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟 15階
TEL:03-6204-4067 FAX:03-6204-3963
E-MAIL:press@homes.co.jp